

川西市議会議員 きたうえあきひと **北上哲仁**

2004年6月

いなほだより

編集：北上哲仁サポーターズ

川西市萩原台東1 - 275 - 3

TEL 072 - 758 - 7724

FAX 072 - 758 - 7725

<http://www.kitau.com>E-mail akihito@kitau.com

1951年12月7日 第三種郵便物
認可 社会新報/号外
社会民主党全国連合機関紙宣
伝局 週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円
送料160円

貴重な加茂のヒメボタル 6月議会報告

市民と行政の協力で保全を



お元気ですか。いつもご支援いただき有難うございます。

6月定例市議会では「加茂地区のヒメボタル保全」と「公文書の性別欄」について一般質問しました。答弁での約束が実行されるよう、皆さんと力を合わせて行きたいと思います。

加茂地区のヒメボタル保全について

市南部・加茂地区に生息するヒメボタルについては、市民による調査・保全活動が10年以上にわたり続けられています。加茂小学校ではヒメボタルを総合学習として取りあげる等、地元での理解も広がっています。しかし、宅地建設等の影響で年々減少し、川西自然教室によると、1996年～2000年までは毎年2000頭前後だった出現数が、2001年以降は1000頭程度に半減しているのです。専門家は「いま対策を講じなければ取り返しのつかない事態を招く」と指摘しています。

科学的な生態調査に基づいた保全計画を

ヒメボタルの生態には、地形・日照・雨量・気温等の物理化学的要因と植物・微生物等の生物学的要因、そして人間の営みが影響している。保全策として、地下水保全のために周辺地域に透水性舗装をする、配偶行動の妨げにならないように街灯の部分遮蔽をする等が考えられるが、科学的な生態調査に基づいた保全計画を立てるべきではないか。

《 ヒメボタルとは 》

ホタルと言えば幼虫が川や田圃で過ごすゲンジやヘイケボタルなどを思い浮かぶが、ヒメボタルは陸生ホタル。ヒメボタルのメスは羽が退化しており飛ぶことができない。オスの発光に、メスが応えて発光すると、オスがメスに近づいてカップルを作る。幼虫は土の中や表面に棲息する陸性の貝(カタツムリの仲間等)をえさにする。

生息地の住宅開発に歯止めを

豊中市では地権者に意向調査を行ったうえで、「土地の現況形態の変更」等を行わなければ「固定資産税・都市計画税の3分の2を助成する」との協定を結んでいる。川西市も生息地の開発に歯止めをかけるために具体策をとるべきだ。

竹ヤブの整備は市民ボランティアの手で

生息地の竹ヤブの手入れはお年寄りや子どもたちを含む市民ボランティアに取り組んでもらったかどうか。竹を切り出し、竹炭を焼いたり竹細工を作る、竹で作った器で飲食する。世代間交流、地域住民の絆づくり、子どもたちの自然体験にもなる。市は地権者とボランティアとのコーディネート役を担ったらどうか。

答弁要旨

市長 私も現地を視察し感動した記憶がある。子どもたちにとって、体験的に「自然との共生」を考えることのできる大切な場だ。民有地であり難しい問題もあるが、豊中市の例も参考にし、前向きに検討したい。

マイノリティーの人権 行政は鋭い視点を！ 公文書の性別記載欄について

近年、女性から男性に登録し直す競艇選手が登場する等、セクシャルマイノリティー(性同一性障害等)に対する社会的関心は高まっています。全国の自治体でも差別・偏見をなくするために、様々な施策が展開されています。特に公文書の性別記載欄については、セクシャルマイノリティーの人権・プライバシーに配慮するため、見直しが進んでいるところです。

宝塚市でも、今年度から70以上の公文書で性別記載欄が削除されました。また、性別欄の是正は、少数者の人権救済はもちろんの事、男女共同参画の面からも大切な課題です。川西市では若手職員によって、申請書の見直しについての報告書もまとめられました。今後、どのように改善していくのか、基本的な考え方とタイムスケジュールを明らかにするよう求めました。

答弁要旨

担当部長は、「期限は明言できないが、法令等との整合性、本人確認の代替の有無等を検討の上、改善したい。市の重要施策として捉え、オール川

西の取り組みとする」と答弁しました。

私は質問に加え、次のような意見を述べました。「この間、当事者の方とお話をする中で、

人間の性の分類は肉体的、生物学的な面だけでなく、精神面など複雑な要素を含む。

外見の性別と書類上の性別とが一致しない場合、好奇の目にさらされ、無理解な人たちに興味本位の質問をされる等の人権侵害がある。

このようなことが分かった。セクシャルマイノリティーの問題は単純ではなく、理解に努力がいります。しかし、身近に当事者がいて、多くの不安や悩み、苦痛を抱えて生活しているのは事実です。一人ひとりの市民が「人間らしく」、「自分らしく」暮らす権利を持っているのですら、問題を直視して、改善するべき点は速やかに改めて欲しい。これまで一見当たり前とされてきた施策の中に、人権上配慮に欠ける内容が含まれていないか、そのことを見抜く鋭い視点が行政には求められている、それが人権擁護都市宣言をする川西市の責務だと思います。」

議会を傍聴して - 筒井真樹子 -

北上さんの質問を傍聴させて頂きました。トランスジェンダー・性同一性障害をもつ者について、大変深いご理解を頂き、感激いたしました。答弁では具体的なタイムスケジュールは示されなかったものの、理解が深まっていることが実感できて、大変嬉しく思います。ただ、他の議員さんの無理解な不規則発言(野次)は残念でした。いわゆるバックラッシュの動きなのでしょうか。ただ、小さな後戻りがあっても、大きな流れは変わらないとの見方を新たにしました。今後あと一押しをよろしくお願いします。

しごと・くらしなんでも相談

普段の生活やお仕事で、困っておられることや不安なことはありませんか。一人で悩まないで一緒に考えましょう。お気軽にご相談ください。市政へのご意見 要望などもお寄せください。

連絡 事務所072-758-7724 ファックス758-7725 eメール akihito@kitaue.com

市役所072-740-1255(内線4060) 北上携帯電話 090-3613-706

市政報告会&

國弘正雄さん特別講演会開催

4月10日、アステ川西・コンパスで「市政報告会&國弘正雄さん特別講演会」を開催。約100名の参加がありました。

北上議員は日頃の活動を報告。「子育て・子育てについては課題が山積している。子育て世代の代表として、子ども施策に取り組みたい」と決意を語りました。

國弘先生は内外の政治状況について鋭く分析。「私はケネディー以降、歴代大統領と親交があるが、ブッシュ現大統領は最悪。思考が短絡的過ぎる。小泉首相はブッシュ政権言いなり。まるで『下駄の雪』だ。11月に大統領選挙が行われるが、ブッシュが負け米国の方針が変わればどうするか」「米国追従の自衛隊派兵は中東諸国との友好関係を壊し、世界から孤立する道に進んでいる」「憲法は最高法規だ。最高法規を蔑ろにしては、法治国家は成立しない。憲法を蔑ろにする者は議員失格だ」との講演は、とても説得力がありました。

講演会「いのち とうとし」

金子哲夫さん 熱く語る!

6月5日、川西・アステホールで講演会「いのち とうとし」(主催:社民党近畿青年委員会)が開かれ、金子哲夫さん(広島県原水禁理事

・前衆議院議員)が「ヒロシマの思い」やイラク問題について講演。「すべてにおいて最も尊重されなければならないのは、人の命です。政治の原点も、まず人の命を守ることから出発しなければなりません」と語りました。水俣病訴訟原告や在外被爆者支援に取り組む皆さんが応援スピーチをしてくださり、金子さんの熱心な仕事振りや誠実な人柄が参加者に伝わりました。金子さんが衆議院議員に小泉政権と真っ向勝負した質問は126回に上ります。共に活動した中川ともこ・北川れん子前衆議院議員らも駆けつけ、会は大変盛り上がりしました。金子哲夫さんは参議院議員選挙(比例区)に立候補予定です。社民党近畿青年委員会(代表:北上哲仁)は共に活動しています。

加藤周一・大江健三郎氏らが

「憲法 9人アピール」

「今こそこの憲法9条を大いに活かそう」と評論家の加藤周一氏が作家の大江健三郎氏や井上ひさし氏、憲法学者の奥平康弘氏らに呼びかけ「9条の会」を結成。他に哲学者の梅原猛・鶴見俊輔氏、作家の小田実・澤地久枝氏、三木武夫元首相の妻である三木睦子氏が参加しています。6月10日に「憲法9人アピール」を発表。「アメリカのイラク攻撃と占領の泥沼状態は、紛争の武力による解決がいかに非現実的であるかを、日々明らか

にしている」「相手国が歓迎しない自衛隊派兵を『国際貢献』などと言うのは思い上がりでしかない」「平和を求める世界の市民と手をつなぐために、あらためて憲法9条を激動する世界に輝かせたい」としています。奥平さんは「9条を守れ」と消極的に対応するだけではなく「9条を積極的に押し出していく。世界に向けての意味、外交・経済政策にも活かせる意味を引き出して行く事が大切だ」と述べました。

か ね こ て つ お ふ ち が み さ だ お

社民党一金子哲夫・淵上貞雄など 参議院議員選挙比例区候補者を発表

社民党は参議院議員選挙の比例区の候補者を決定しました。

福島瑞穂(現職・弁護士)、淵上貞雄(現職)、金子哲夫(党近畿青年委員会推薦・原水禁理事)、菅野哲雄(前衆議院議員・自治労)、戸田二郎(党障害者議員連絡会事務長)を擁立します。

能勢電鉄や阪急電鉄・バス・タクシーなどの労働組合が推薦する淵上貞雄さんは公共交通の専門家。そして働く者の暮らしと権利を守るために大

奮闘しています。「自己責任を強調し、強いものが生き残ればいいという市場原理万能主義の風潮は、社会を殺伐とさせ、ルール無きものになっています。私は一人ひとりが人間らしく生活できる、平和で働きがいのある社会、安全で公正な社会の実現に向けて頑張ります」と訴えています。

は ら か ず み

原和美さんと共に 憲法を活かす声を集めよう

「9プラス25 改憲阻止市民の会」は参議院選挙・兵庫選挙区に、^{はらかずみ}原和美さん(無所属)の擁立を決めました。自治労川西市職員労働組合等、働く仲間も推薦を決定。

^{はらかずみ}原和美さんは「自衛隊のイラク即時撤退」「働くもの権利と暮らしをまもる」「子どもの人権を大切にしたい子育て・子育て支援」等を政策に掲げています。

自民党・民主党の保守二大政党で

は、フツーに暮らし、真面目に働く市民の声は政治に反映されません。小さな力でも集まれば大きな流れになります。北上は「^{はらかずみ}原和美さんと共に、憲法9条(戦争放棄)や25条(健康で文化的な生活を営む権利)を活かす政治を実現しよう」と訴えています。

中川ともこ前衆議院議員も原和美さん支援のため、県内各地を走っています。

^{はらかずみ}原和美プロフィール：神戸大学大学院法学研究科終了 旧郵政省神戸貯金局勤務 「戦争への道を許さない兵庫おんなたちの会」世話人 「合成洗剤追放北区民の会」会長 神戸市議5期 54歳

参議院選挙は7月11日投票。兵庫選挙区は個人名・比例区は政党名または個人名で。